



彩湖

だより

秋の七草

万葉の時代から秋の叙情の代表的なものに「秋の七草」があります。「秋の七草」とは、ハギ（萩）、ススキ（尾花）、クズ（葛）、オミナエシ（女郎花）、フジバカマ（藤袴）、ナデシコ（撫子）、キキョウ（桔梗）の7種類を称して言います。

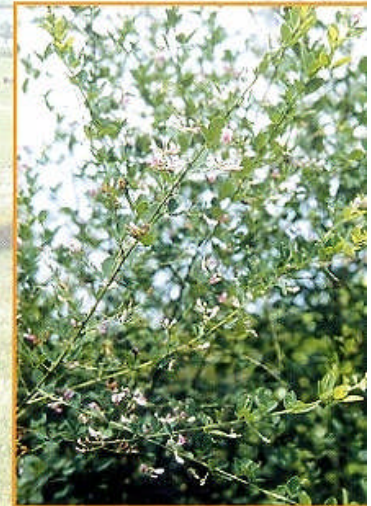
かつては武蔵野の野原には全種類がたくさん自生していましたが、今彩湖周辺に自生しているものは、ハギ、ススキ、クズの3種類だけです。フジバカマ、ナデシコ、キキョウは昔は自生していましたが、今は見られません。



クズ 大きな群生がある



オミナエシ
公園に植栽



ヤマハギ 公園に植栽



フジバカマ 公園に植栽



キキョウ 公園に植栽



ススキ
だんだん増えてきた



オギ
ススキに似ているが
秋の七草ではない



カラナデシコ
公園に植栽



アレチヌスビトハギ
彩湖周辺では数も多くよく目立つ

スズメバチ



オオスズメバチ

雑木林の中で樹液の出ているクヌギに集まっているカブトムシやクワガタを採りに行ったときスズメバチが2、3匹こちらに向かって飛んできると怖くなり諦めて帰ってきたという体験があるでしょう。

スズメバチの仲間には日本に7種類います。一般にスズメバチと呼ばれているオオスズメバチは日本で最も大きく女王蜂は体長4.5cmにもなり社会性のハチのなかでは世界最大といわれています。このスズメバチの生活史をみますと冬を越した女王バチは4月頃から1匹で一所懸命に巣作り、産卵、子育てをします。6月頃になると働きバチが羽化してきます。働きバチは餌を集めたり巣を大きくするなど分業が決まっています。その頃になると女王バチは巣から出ることなく産卵に専念します。7月以降は働きバチは急速に増え夏の終り頃、最も活動が盛んになり巣も70cmから1mにもなります。秋になると新女王となるメスとオスの卵を産み育てられます。寒さを感じる頃になると女王バチは満身創痍となり役目を終え死んでしまいます。その後、新女王バチとオスバチは次の代へと引き継がれます。巣を出た新女王バチとオスバチは交尾をし女王バチ1匹だけで落葉の中や朽ち木の中で寒さに耐え冬を越します。働きバチやオスバチはすべて死んでしまいます。夏に作られた巣も再び使われることはありません。

スズメバチは強い攻撃性を持ち、鋭い大あごど

尾端の毒針が武器なのです。毒針を持っているのはメスバチ（女王バチ、働きバチ）です。巣に近づいたり食物をあさっている時にヒトが近づくと攻撃体制をとります。ハチの体からフェロモンという物質を出し仲間をよび集めます。ヒトの頭や目などを狙います。特に黒色に飛びかかるといわれています。昔はハチに刺された時アンモニア水をつけるとよいと言われましたが、これはまったく効果がないのです。その理由はハチの毒成分は蟻酸と考えられていましたが、現在では蟻酸ではないことが分かったのです。蟻酸とアンモニア水を反応させれば中和するという根拠はなくなったのです。応急処置として刺された部位を水で冷やし毒液の吸収を遅らせることが効果的のようです。

最近、都市でキイロスズメバチとコガタスズメバチの2種類が住宅地に進出しています。本来、キイロスズメバチはコン虫、クモ、カエルなどを食べていましたが近頃はゴミの中の肉や缶ジュースの残りなどを好んであさるようになりました。良質のタンパク質やビタミン、糖などの食物を得て繁殖が急増しているといわれています。キイロスズメバチの巣は軒下や崖につくりますが、近頃は住宅の軒下や橋の下、屋根裏部屋、床下、庭の植木鉢の中など何処へでも作るようになりました。天敵が少なく、しかも栄養価の高い食物を得て「都市適応型スズメバチ」といわれるようになり都市に生活域を広げています。



キイロスズメバチ

◆豊かな心をはぐくむ自然体験活動

「出会い」から「学び」へ…

子ども達と野外での活動をしていると、自然の営みの様々な場面に出会うことができます。

鳥が食べられた跡を発見するというかなりインパクトの強い場面に出会うことができました。

「いやだ」「かわいそう」と後ずさりする子もいれば、「どれどれ」「すごい」とさらに近づきじっくり観察する子もいます。

同じ自然の事物・現象にふれたとしても、一人一人が感じることは異なったものです。それぞれのこれまでの経験や興味・関心、現在の自分を取り巻いている環境の違い等によって千差万別です。

まずは、この「個別的」で「感覚的」なとらえ方を大切にしたいものです。そのうえで、自分の感じたことや他の子の感じたことを比べる時間をじっくりととりたいたいものです。このことによりいろいろな見方・考え方があることに気づき、さらに、生きものどうしのつながり・食物連鎖・自然生態系へと「学び」が広がります。

確かな証拠を目の前にしながら、自然界の厳しさを実感することができるでしょう。

自然体験学習のよさは、自然とふれあうことにより、生命の大切さや自然のふしぎさ、美しさなどを五感を通して「実感」できることです。このことは、頭だけでなく、心も体も一体となった子どもの変容であり、成長なのです。



彩湖自然学習センター講座

土・日曜は自然の中での活動を!

荒川ウォーキング

荒川探検隊

5月のさわやかな風を身体いっぱい受けながら、そして、オオシキリなどの野鳥の声を聴きながら荒川沿いを下流へと歩きました。途中、戸田の渡船場跡では昔の荒川を想像し、スーパー堤防では新しい荒川の姿を見ることができました。



親子ザリガ二つり

親子ふれあい講座

初めは逃げ回っていた男の子も、徐々に慣れ講座終了時には指でつついたり手にすることができるようまで成長していました。「さすがお父さん」という声も聞かれるなど、親子のほほえましい交流の姿をあちらこちらで見ることができました。



昆虫ウォッチング ~夏~

こども自然クラス

今年は気温が上がらずバツ類の姿は小さく目立たないのでみつけるのに苦労しました。しかし、さすが自然あそびを繰り返している会員の子もたち、カブトムシやカナブン、カミキリムシなどをみつけ大喜び。羽化したばかりでじっとしているセミもみつけ、成長の様子をじっくりと観察することができました。



彩湖周辺散策

〈鑑賞池〉

荒川は大むかしから同じところを流れていたわけではありません。「荒ぶる川」といわれたように、蛇行が激しく洪水をくり返してきました。そのため河川の改修によって川の通り道は現在の位置になったのです。

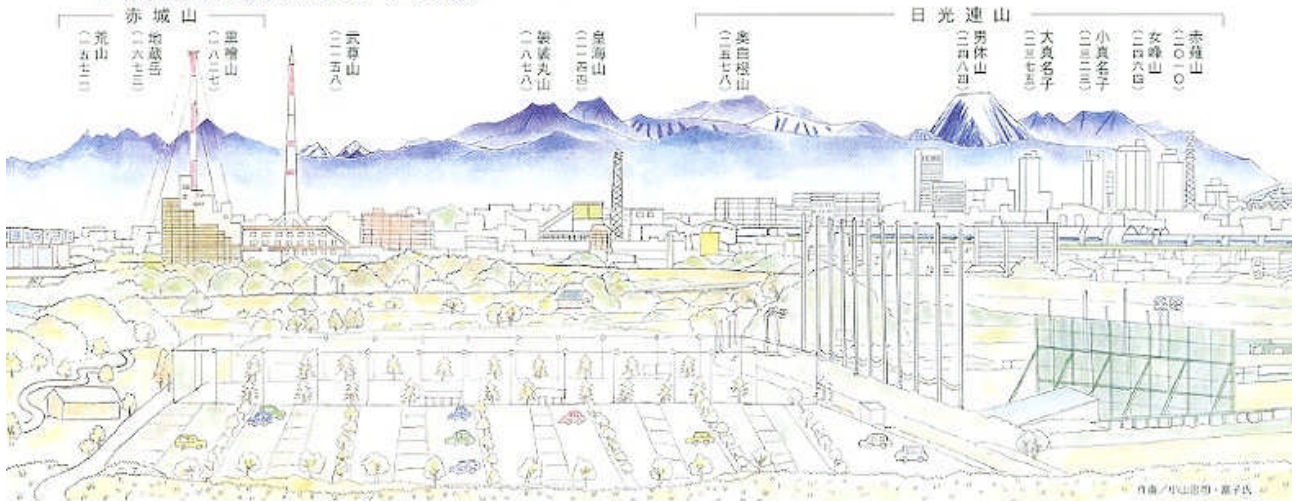
彩湖・道満グリーンパーク内の鑑賞池やつり堀は、むかし荒川が流れていたところのなごりなのです。

鑑賞池には、夏はカイツブリ、バン、カルガモなどの鳥がいます。コアジサシのダイビングは見ていて飽きません。また、ショウジョウトンボ、アキアカネ、コシアキトンボ、オニヤンマなどトンボの仲間もたくさん観察できます。

四季折々のたたずまいをみせてくれる鑑賞池で、しばし日常の喧騒を忘れてみませんか。秋の優しい日差しを浴びながら静かに物おもいにふけるには、絶好の場所です。



▶ 彩湖から見える山々・近景



秋になり空気が澄んでくると、当センター五階からの眺望は遠景、近景が見事に織り成して、実に素晴らしい景色が広がってきます。

南方には池袋のサンシャインビル、新宿の高層ビル群が、また北方には埼玉新都心のビル群が隣近に眺められます。そして更に遠くに、関東平野を囲む丹沢、奥多摩、秋父方面の山々と榛名、赤城、日光連山などが、くると見渡すことができます。特に真っ赤な夕日が彩湖に映りその後ろに富士山のシルエットが優雅に夕焼けの空に浮かぶ情景は、眺めていて時の経つのも忘れるほどの美しさです。

眼下の彩湖周辺は、ススキ、オギなどの穂が北風に揺れ動き、セイタカアワダチソウ群落の黄色い花の絨毯が風に波打つ風景の中に、屋敷林跡の樹木の黄色や赤に色づき始めた景色が彩りを加えてくれています。

彩湖の湖面には冬の渡り鳥、カモ類の群れが早くも渡ってきて、静かに羽を休めて浮かんでいます。もう直ぐ珍しいカンムリカイツブリが、活発に水に潜って餌を遊ぶ姿を見ることができるようになります。

もよおしのご案内

- **自然観察会** (一般・親子対象)
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～
・9月7日(日)・10月19日(日)・12月14日(日)
・(2004年)1月6日(火)
- **野鳥観察会** (一般・親子対象)
～彩湖周辺の野鳥を観察する～
・11月9日(日)・12月7日(日)・(2004年)1月18日(日)
・2月22日(日)・3月21日(日)
- **子ども自然観察教室** (小・中学生対象)
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～
・10月18日(土)・11月15日(土)・(2004年)3月13日(土)
- **子ども自然クラブ** (小・中学生対象)
～継続して自然体験・奉仕の活動を行う～
・9月6日(土)・11月29日(土)
・(2004年)1月24日(土)・2月28日(土)
- **生きがい講座** (一般・親子対象)
・10月25日(土)
- **彩湖ウォーキング** (一般・親子対象)
・10月5日(日)

※開催日・内容等変更する場合がありますので、電話にてご確認ください。

彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内容2887番地
TEL 048-422-9991 FAX 048-422-9993
URL <http://www.toda-c.ed.jp/saiko> E-mail saiko@toda-c.ed.jp

※この地図はより正確にやさしい再生紙を使用しています。

ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / 毎週月曜日(休日を除く)
休日の翌日(土曜日・日曜日・休日を除く)
館内整理日(毎月末日)(土曜日・日曜日・休日を除く)
12月28日から翌年の1月4日まで
- **入館無料**

交通案内

- **お車ご利用の場合**
 - ・東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
 - ・新大宮バイパス 美女木交差点より約1km
- ※彩湖・道満グリーンパーク南駐車場(500台収容)から徒歩3分
- **電車ご利用の場合**
 - ・JR北戸田駅から下笹目経由西川口駅行きバス
 - ・JR西川口駅西口から下笹目経由北戸田駅行きバス
 - ・JR南浦和駅西口から武蔵浦和駅経由下笹目行きバス
 - ・東武東上線成増駅北口から戸田車庫行きバス
- ※いずれのバスも「修行日」バス停下車徒歩8分

